

第三部 CONFINTEA VI のモニタリング・フォローアップの立ち上げ（提案）

担当 野元弘幸

1. 成果文書に関する評価に関する提案

- (1) 「草の根会議」としてのコメント・見解をまとめて、配布・要請など（英訳も作成）

↓

社会教育・生涯学習関係者へ（団体、職員、運動団体）

地方自治体（教育委員会）へ

政府機関へ 関連機関・団体

ユネスコなど国際機関・組織関係へ

- (2) 文部科学省との懇談会

これまでの経過を踏まえて、上記コメント・見解を伝えて要請する。

2. モニタリング・フォローアップ組織の立ち上げに関する提案

名称：国際成人教育会議（CONFINTEA）国内「草の根会議」

構成：日本国内で活動する青年・成人教育関係の市民社会組織

第6回「草の根会議」参加組織に加え、さらに幅広い市民社会組織の参加を求める。

活動：一第6回国際成人教育会議の報告書・リーフレット等の作成

－「ベレン行動枠組み」のモニタリング活動

－『市民社会レポート』の作成、ナショナルレポート作成への参加

－政府機関・ユネスコへの働きかけ ロビー活動

－国際組織との連携 ICAE、ASPBAE など

－他の国の類似組織との連携

－中間総括会議準備

－第7回国際成人教育会議を想定した今後10年の成人教育

運営：構成団体・組織から推薦された個人によって構成される運営委員会が運営する。

組織：総会、運営委員会、事務局長、代表

財政：当面は参加団体から参加費は徴収せず、カンパ・報告書等の販売収益で運営する。